

2017年度入試 国公立医学科 特別選抜の概要

2016年11月4日現在判明分

【表の見方】

- 2017年度入学者選抜の特別選抜の概要です。ただし、配点等で斜字体の部分は2017年については未公表のため、前年度の内容です。
- 「出願資格」について【現浪】現は現役のみ、①は現役と1浪まで可、○は現役浪人すべて可、などを表します。
- 「その他要件」は、「または」とないものはすべて&条件です。記載されたすべてを満たさなければなりません。なお、一般的・抽象的な要件は省略しました・・・「地域、社会に貢献する強い意欲を持っている」、「学業・スポーツ・文化活動を積極的に取り組んだ」、「人格・学力ともに優秀」など。
- また、「入学確約」の要件も省略しました。国公立大学の推薦・AOは入学辞退は認められていない専願制です。
- 地域枠等で、卒業後の医療従事についての義務が課される場合はその概要を「その他の要件」の欄に記載しました。ただし、「医師修学資金」そのものに付帯する医療従事義務は省略しました。
- 今後の変更等もありえますので、必ず募集要項で確認してください。

大学	種類	枠等	募集人員	出願資格		出願期間	選考方法等		選考結果発表	合否判定法	センター試験受験教科											
				現浪	評定		その他要件(&条件)	試験内容			試験日	教科数	国語	歴史	数学	理科	英語	満点	基準点・%			
北海道	AO		5	現	A	理科の指定科目履修	10/11~10/18	1次	調査書50点、個人評価書・自己推薦書・活動の記録50点	—	11/4	5-7	200	100	200	200	200	200	900	810	90%	
								2次	課題論文(論理性、読解力、思考力、判断力等を問う)40点、面(主に理科、特に化学・生物に高い理解力を有しているか問うなど)60点	11/20	2/7											
旭川医科	推薦	道北・道東特別選抜	10	①	4.3	北海道内の地域(指定あり)で小中高のいずれかで教育を受け、父母等が現在居住。卒業後、大学指定の道内の研修指定病院で臨床研修	11/1~11/7		論300点、面(集団300点、個人300点)	11/26	2/8	センターは基準点としてのみ利用	5-7	200	100	200	200	200	200	900	675	75%
	AO	北海道特別選抜	40	①	4.0	道内の高校出身者。卒業後、大学指定の道内の研修指定病院で臨床研修	10/4~10/11		論200点、面(集団300点、個人200点)	11/5~11/6	2/8	1900点満点	5-7	200	100	300	300	300	1200	900	75%	
札幌医科	推薦	地域枠	20	現	①A	道内の高校出身者でかつ3年以上道内在住者。卒業後、指定機関で臨床研修、さらに7年間道内で医療従事(修学資金制度なし)	12/1~12/5	1次	書類。募集人員の3倍まで合格とする	—	1/10	センターは基準点としてのみ利用	5-7	200	100	200	200	200	200	900	675	75%
	推薦	特別枠	15	①	①A	道内の高校出身者かつ3年以上道内在住者。卒業後、一定期間道内で医療従事(修学資金貸与)	12/1~12/5	2次	総合問題400点、面(個人)400点、調200点	2/1	2/7	センターは基準点としてのみ利用	5-7	200	100	200	200	200	900	675	75%	
弘前	AO	地域枠	50	①	4.3	青森、北海道、岩手、宮城、秋田、山形、福島県の高校出身者(募集人員50のうち30は青森県内出身者枠)。卒業後に弘前大学及び関連施設で臨床研修を行い、その後も弘前大学・関連施設で医療に従事する(研修開始から12年間)	8/29~9/2	1次	書類100点、模擬講義に関する筆記試験100点、個人面接200点。募集人員の2倍程度が合格	10/1~10/2	10/21	1次・2次合計の700点満点	5-7	①	①	②	②	①	センターは点数化せず			
								2次	ケーススタディの自学自習100点、ワークショップ200点	11/6	2/7											
東北	AO	AOⅢ期	15	現		数・理の指定科目履修	1/17~1/20	1次	書類、センター試験。志願者数が募集人員を大幅に上回る場合に実施	—	2/2	1300点満点	5-7	200	100	200	200	200	200	900		
		国際バカロレア	若干		2016/4/1~2017/3/31に国際バカロレア資格を取得または取得見込みの者。履修科目・成績に基準あり。学校長の評価書を提出	1/17~1/20	2次	論(論理的思考能力、独創性、表現力、作文能力、英文読解力などを評価)200点、面(医師・研究者としての適性を評価)200点	2/6	2/8												
秋田	推薦	一般枠	20	現	A		12/14~12/20		論100点、面・調査書等150点	1/19	2/6	700点満点	5-7	100	50	100	100	100	100	450		
	推薦	秋田県地域枠	19	①	A	県内の高校出身者。秋田県の修学資金の貸与を受け、卒業後一定期間県内の公的医療機関に勤務	12/14~12/20		論100点、面・調査書等150点	1/19	2/6	700点満点。意欲等を勘案	5-7	100	50	100	100	100	450			
	推薦	全国地域枠	5	①	A	県外の高校出身者。秋田県の修学資金の貸与を受け、卒業後一定期間秋田県内の公的医療機関に勤務	12/14~12/20		論100点、面・調査書等150点	1/19	2/6	700点満点。意欲等を勘案	5-7	100	50	100	100	100	450			
山形	推薦		30	現	A	数・理の指定科目履修	11/1~11/4		面50点、調査書等	11/16	2/6	950点満点	5-7	200	100	200	200	200	900			
福島県立医科	推薦	A枠	25	現	①A	県内の高校出身者。卒業後、指定医療機関で臨床研修	12/15~12/21		総合問題300点、面60点	1/28	2/8	810点満点	5-7	100	50	100	100	100	450	360	80%	
	推薦	B枠県内	8	①	①A	県内の高校出身者。「福島県緊急医師確保修学資金」貸与を受け、卒業後県内の公的医療機関に勤務	12/15~12/21		総合問題300点、面60点	1/28	2/8	810点満点	5-7	100	50	100	100	100	450	360	80%	
	推薦	B枠県外	7	①	①A	県外の高校出身者。「福島県緊急医師確保修学資金」貸与を受け、卒業後県内の公的医療機関に勤務	12/15~12/21		総合問題300点、面60点	1/28	2/8	810点満点	5-7	100	50	100	100	100	450	360	80%	
筑波	推薦		36	現		次の①~③のいずれか:①A段階の者、②英・数・理(物・化・生のうち2科目)の能力が抜群の者、③国際的な課題の探求・学習・活動を行って国際的素養を身に付けかつ英語・理系科目の能力が抜群の者 4技能外部英語試験のC1相当以上のスコアを有するものは証明書提出(総合評価に反映)	11/1~11/7		論(英、数、理(物・化・生から2選)の総合的学力測定と論理的思考力、表現力を評価)、面(個別。医学を志向する動機、修学の継続力、適性、感性、社会的適応力など総合的な人間性について評価)	11/29~11/30	12/12	×										

大学	種類	枠等	募集人員	出願資格		出願期間	選考方法等		選考結果発表	合否判定法	センター試験受験教科							基準点・%		
				現浪	評定		その他要件(&条件)	試験内容			試験日	教科数	国語	歴公	数学	理科	英語		満点	
	推薦	地域枠	22	①	A	茨城県内の高校出身者または保護者が県内在住。英・数・理(物・化・生のうち2科目)の能力が抜群で、茨城県地域医療医師修学資金を利用する者 4技能外部英語試験のC1相当以上のスコアを有するものは証明書提出(総合評価に反映)	11/1~11/7	論(英、数、理(物・化・生から2選)の総合的学力測定と論理的思考力、表現力を評価)、面(個別。医学を志向する動機、修学の継続力、適性、感性、社会的適応力など総合的な人間性について評価)	11/29~11/30	12/12	×									
	特別	国際バカロレア	若干			国際バカロレア資格を取得または取得見込みの者。履修科目に指定あり	8/23~9/1	1次 書類等 2次 面接・口述試験	— 10/3~10/17	9/21 10/21	×									
群馬	推薦	一般	35	現	A	指定科目履修(見込)者。募集人員には地域医療枠7名程度を含む。出願の際に①一般枠、②地域医療枠のいずれかを選択	11/1~11/6	論、面、適性資質調査書、志望理由書(左記②での出願者のみ)の総合判定	11/19~11/20	12/5	×									
東京	推薦		3	○		自然科学領域で高い能力を持つ、または優れた英語力と国際経験を持つ者。国際科学オリンピック等の成績証明資料または英語力・国際経験を示す資料を提出	11/1~11/4	1次 書類選考 2次 プレゼンテーション(推薦書類記載の能力・経験を確認するため)と質疑応答。志願者は事前にポスターを作成して使用する	— 12/17~12/18指定	12/1 2/8	センターは基準点としてのみ利用	5-7	200	100	200	200	200	200	900	780 87%
東京医科歯科	推薦	茨城県枠	2	①	A	茨城県内の高校出身者、または保護者が茨城県内に居住。茨城県が実施する『茨城県地域医療医師修学資金貸与制度』に応募し、事前に茨城県による面接を受けた者	1/17~1/24	1次 センター試験、書類。募集人員の約4倍を合格とする 2次 面(個人)	— 2/5	2/3 2/8	総合判定	5-7	200	100	200	200	200	200	900	
	推薦	長野県枠	2	②	A	長野県が実施する『長野県医学生修学資金貸与制度』に応募し、事前に長野県による面接を受けた合格した者	1/17~1/24	1次 センター試験、書類。募集人員の約4倍を合格とする 2次 面(個人)	— 2/5	2/3 2/8	総合判定	5-7	200	100	200	200	200	200	900	
横浜市立	推薦	地域医療枠	5	現	Ⓐ	大学指定の神奈川県内高校の卒業生。数学・理科の指定科目を履修し、英語検定試験のスコア・級を有する。初期研修のうち7年間神奈川県内で医療従事	11/7~11/9	1次 書類審査。志願者数が15倍を超えた場合のみ実施 2次 面接(Multiple Mini Interviewの手法を取り入れる)1000点 3次 センター試験1000点	— 12/10 —	11/18 12/16 2/8	2000点満点	5-7	200	100	200	200	300	1000	一般前期の第1段階選抜合格者の平均点(2016年入試では876.09点)	
新潟	推薦	一般枠	20	現	Ⓐ		11/1~11/7	面(5段階評価)	12/2	2/6	総合判定	5-7	100	50	100	200	100	550		
	推薦	地域枠A	5	③	Ⓐ	県内高校出身者	11/1~11/7	面(5段階評価)	12/2	2/6	総合判定	5-7	100	50	100	200	100	550		
	推薦	地域枠B	12	③	Ⓐ	県内高校出身者。新潟県の修学資金を受給、卒業後指定医療機関で9年間勤務	11/1~11/7	面(5段階評価)	12/2	2/6	総合判定	5-7	100	50	100	200	100	550		
富山	推薦	地域枠	15	現		富山県内の高校出身者	11/28~12/2	論100点、面100点	12/12	2/6	センターは基準点としてのみ利用	5-7	200	100	200	200	200	900	720 80%	
	自己推薦	特別枠	10	②		富山県地域医療確保修学資金を受給し、医師免許取得後、一定期間、富山県内で診療に従事	11/28~12/2	課題作文、面	12/23	2/6	総合判定	5-7	200	100	200	200	200	900	720 80%	
金沢	推薦	一般枠	15	現	A		12/15~12/21	1次 センター試験。志願者が募集人員の2倍程度を超えた場合に実施 2次 面・口頭試問200点	— 2/6	2/2 2/8	1000点満点	5-7	100	100	200	200	200	800	680 85%	
	推薦	特別枠	12	現	A	石川県枠(10人)は、石川県の修学資金を受給、卒業後、指定病院で初期研修、その後指定の医療機関で7年間勤務。富山県枠(2人)は、富山県の修学資金を受給、卒業後、指定病院で初期研修、その後指定の医療機関で9年間勤務(小児、小児外科、産科、麻酔、救急、総合診療のいずれか)	12/15~12/21	1次 センター試験。志願者が募集人員の3倍程度を超えた場合に実施 2次 面・口頭試問200点	— 2/6	2/2 2/8	1000点満点	5-7	100	100	200	200	200	800	680 85%	
福井	推薦	全国枠	15	現	A	理科の指定科目履修	12/12~12/16	1次 センター試験。募集人員の約3倍を合格とする 2次 面、書類	— 2/6	2/2 2/8	総合判定	5-7	200	100	200	200	200	900		
	推薦	地域枠	5	①	A	県内の高校出身者、または保護者が県内在住。理科の指定科目履修。臨床研修後県内で医療従事	12/12~12/16	1次 センター試験。募集人員の約3倍を合格とする 2次 面、書類	— 2/6	2/2 2/8	総合判定	5-7	200	100	200	200	200	900		
	推薦	福井健康推進枠	10	①	A	理科の指定科目履修。県内で臨床研修終了後、県内で医療従事する旨の書面(奨学金受給意向調査書)を福井県に提出した者	12/12~12/16	1次 センター試験。募集人員の約3倍を合格とする 2次 面、書類	— 2/6	2/2 2/8	総合判定	5-7	200	100	200	200	200	900		
山梨	推薦	地域枠	35	①	Ⓐ	県内の高校出身者。山梨県医師修学資金を受給し、医師免許取得後、一定期間県内での診療に従事	12/12~12/16	1次 センター試験、書類。募集人員の約1.5倍を合格とする 2次 面	— 2/7	2/3 2/8	総合判定	5-7	200	100	200	200	200	900		
信州	推薦	出願要件(1)	15	現	Ⓐ	県内の高校出身者	11/28~12/2	面	12/9	2/3		5-7	200	100	200	200	200	900	720 80%	
	推薦	出願要件(2)	5	①	Ⓐ	県内の高校出身の 既卒者	11/28~12/2	面	12/9	2/3		5-7	200	100	200	200	200	900	720 80%	

大学	種類	枠等	募集人員	出願資格		出願期間	選考方法等		選考結果発表	合否判定法	センター試験受験教科										
				現浪	評定		その他要件(&条件)	試験内容			試験日	教科数	国語	歴史	数学	理科	英語	満点	基準点・%		
岐阜	推薦	一般	15	現	A		1/18~1/20	論560点、面840点	1/25	2/7	2100点満点	5-7	50	50	200	200	200	700	595	85%	
	推薦	地域枠	28	①	A	県内の高校出身者または岐阜県内に居住。岐阜県医学生第1種修学資金を受給し、卒業後初期研修を県内で行い、その後9年間、県内医療機関で指定されたプログラムで業務に従事	1/18~1/20	論280点、面420点	1/25	2/7	1400点満点	5-7	50	50	200	200	200	700	560	80%	
浜松医科	推薦		30	現	A		11/1~11/9	論100点、面150点、適性検査300点	1/28~1/29	2/8	1500点満点	5-7	200	100	200	200	250	950			
名古屋	推薦		12	現	④	医学研究者への志向性を持つ者(本学のMD・PhDコースへの進学希望など)。英語各種試験スコア、IBスコア、SGH・SSH活動状況等を任意で提出	1/17~1/20	1次 書類、センター試験 2次 プレゼンテーションと口頭試問による面接(和文と英文の課題設定)	— 2/6	— 2/8		5-7	①	①	②	②	①				
名古屋市立	推薦	推薦B	20	①	4.3	中部圏内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野、福井、石川、富山、滋賀の各県)の高校出身者	1/16~1/20	1次 センター試験(基準点以上で募集人員の約2倍を第1段階選抜の合格とする) 2次 面(課題論述および口述を含む)、書類	— 2/5	— 2/8		5-7	200	100	250	250	200	1000	800	80%	
	推薦	地域枠	7	③	4.3	中部圏内高校出身者または保護者が圏内在住。愛知県の修学資金を受給し、卒業後、一定期間愛知県の地域医療に従事	1/16~1/20	1次 センター試験(基準点以上で募集人員の約6倍を第1段階選抜の合格とする) 2次 面、書類	— 2/5	— 2/8		5-7	200	100	250	250	200	1000	800	80%	
三重	推薦		40	①	A	募集人員は地域枠A25名程度、地域枠B5名程度を含む。地域枠志望者は三重県医師修学資金に初年度から応募する。地域枠Aは県内高校出身者または扶養義務者が県内在住。地域枠Bは扶養義務者が指定市・町に在住し、市・町長の推薦を受けた者	12/15~12/20	1次 センター試験。募集人員の2倍程度を合格とする 2次 論150点、面300点	— 2/6~2/7	2/2 2/8	総合判定	5-7	100	100	100	200	100	600			
滋賀医科	推薦		12	現	A	理科の指定科目履修															
	推薦		10	現	A	県内の高校出身者。理科の指定科目履修	11/1~11/7	論(資料に基づいて論述。理解力、思考力、表現力を評価)、面(グループ面接で、資質・適性の観点から評価)	12/10	2/8	総合判定	5-7	①	①	②	②	①				
	推薦		3	現	A	県外の高校出身者で本人または1親等親族が県内在住。理科の指定科目履修															
京都	推薦		5	現	4.7	TOEFL-iBTまたはIELTSのスコアが基準以上。国際科学オリンピック日本代表で世界大会出場の高2生も出願可	11/1~11/7	1次 書類選考 2次 論(論理的思考力、文章構成力などを評価。物・化・生のうち2科目の基礎知識が必要)160点、面(研究者・医師としての適性、社会的能力などを評価)240点	— 12/17~12/18	11/30 1/11		x									
京都府立医科	推薦		7	④	④A	府内の高校出身者、または本人か保護者が府内在住。京都府が設定する奨学金を受給し、卒業後の一定期間京都府の指定機関で研修及び勤務	1/18~1/23	面(資質・適性、地域医療貢献への意欲を評価)	1/28~1/29選 択	2/8		5-7	200	100	200	200	200	900	765	85%	
大阪	推薦	世界適塾推薦入試	若干	現	4.3	数・理の評定平均値は4.5以上。TOEFL-iBT80点以上、またはIELTS6.0点以上、または英検準1級以上	11/1~11/7	1次 センター得点720点以上の者のうち上位から60名までを合格とする	—	2/3											
								2次 論(英文を含む文章の読解論述型・資料分析型・テーマ型・理科論述型など)450点。センター(450点満点に換算)と論の合計点上位20名に面接実施(個人面接30分を2回)	2/5~2/6	2/8		5-7	200	100	200	200	200	900	720	80%	
神戸	AO		10	現			1/17~1/25	1次 センター試験得点。志願者が募集人員の約2倍を上回る場合に実施 2次 面接・口述試験100点	— 2/6	2/2 2/8	900点満点	5-7	150	50	200	200	200	800			
	推薦	地域特別枠	10	①	4.3	県内高校出身者、または本人か保護者が3年以上県内在住。兵庫県の奨学金を受給し、卒業後県内で医療に従事	1/17~1/25	1次 センター試験得点。志願者が募集人員の約2倍を上回る場合に実施 2次 面接・口述試験300点、書類審査100点	— 2/6	2/2 2/8	1200点満点	5-7	150	50	200	200	200	800			
奈良県立医科	推薦	緊急医師確保	13	②		卒業後、県知事が指定する県内医療機関等で医療に従事	12/13~12/16	数(I II III AB)150点、理(物・化・生→1.基礎を含む)150点、英150点、面	1/28~1/29	2/7	センターは900点を450点に換算。	5-7	100	100	200	300	200	900			
	推薦	地域枠	25	②		県内高校出身者または本人・一親等親族・配偶者のいずれかが県内在住	12/13~12/16	数(I II III AB)150点、理(物・化・生→1.基礎を含む)150点、英150点、面	1/28~1/29	2/7		5-7	100	100	200	300	200	900			
和歌山県立医科	推薦	一般枠(県内募集)	6	現	A	県内高校出身者または扶養義務者が県内在住	12/14~12/20	1次 センター試験 2次 面(個人、集団)、書類	— 2/5	— 2/7		5-7	200	100	200	200	200	900	基準点あり		
	推薦	県民医療枠(全国募集)	5	①	A	本人と、親権者または後見人の誓約書(卒業後9年間のキャリア形成を本学または地域中核病院を中心に行う旨)を提出	12/14~12/20	1次 センター試験 2次 面(個人、集団)、書類	— 2/5	— 2/7		5-7	200	100	200	200	200	900	基準点あり		
	推薦	地域医療枠(県内募集)	10	①	A	県内高校出身者または扶養義務者が県内在住。本人と、親権者または後見人の誓約書(卒業後9年間のキャリア形成を本学または地域中核病院を中心に行う旨)を提出	12/14~12/20	1次 センター試験 2次 面(個人、集団)、書類	— 2/5	— 2/7		5-7	200	100	200	200	200	900	基準点あり		

大学	種類	枠等	募集人員	出願資格		出願期間	選考方法等		選考結果発表	合否判定法	センター試験受験教科									
				現浪	評定		その他要件(&条件)	試験内容			試験日	教科数	国語	歴公	数学	理科	英語	満点	基準点・%	
鳥取	推薦	一般枠	10	現	A		12/12~12/16	面100点、書類	2/4	2/8	1000点満点	5-7	200	100	200	200	200	200	900	
	推薦	地域枠	5	①	A	県内高校出身者	12/12~12/16	面100点、書類	2/4	2/8	1000点満点	5-7	200	100	200	200	200	200	900	
	推薦	特別養成枠	5	②		鳥取県から「鳥取県緊急医師確保対策奨学金の予約奨学生」の決定を受けている者	12/12~12/16	面100点、書類	2/4	2/8	1000点満点	5-7	200	100	200	200	200	200	900	
島根	推薦	一般枠	25	①	4.3	英・数・理の指定教科・科目履修	11/1~11/7	1次 書類。募集人員の約4倍を合格とする 2次 論200点、面200点	—	12/10	2/8	総合判定	5-7	100	100	300	300	200	1000	基準点あり
	推薦	地域枠	10	①	4.1	英・数・理の指定教科・科目履修。県内の僻地出身で、僻地の医療機関等で適性評価と市町村長等の面接を受けた者。卒業後は県内病院で初期・後期の臨床研修を受ける	11/1~11/7	論(物事の判断、論理的思考、分析・考察、問題解決等を評価)200点、面(適性をみる)600点。センターが基準点以上の者について論・面の総合点で合否判定	12/10~12/11	2/8	総合判定	5-7	100	100	300	300	200	1000	基準点あり	
	推薦	緊急医師確保対策枠	5	①	4.1	英・数・理の指定教科・科目履修。県内の指定医療機関で適性評価と島根県担当者による面接を受けた者。卒業後は県内病院で初期・後期の臨床研修を受ける	11/1~11/7	論(物事の判断、論理的思考、分析・考察、問題解決等を評価)200点、面(適性をみる)600点。センターが基準点以上の者について論・面の総合点で合否判定	12/10	2/8	総合判定	5-7	100	100	300	300	200	1000	基準点あり	
岡山	推薦	地域枠岡山県	7	②		県内高校出身者、または本人か保護者が県内在住。岡山県が貸与する奨学金を受給する者	11/1~11/8	面(口述試験を含む)	12/3	2/7	総合判定	5-7	200	100	200	200	200	200	900	780 87%
	推薦	地域枠鳥取県	1	②		鳥取県が貸与する奨学金を受給する者	11/1~11/8	面(口述試験を含む)	12/3	2/7	総合判定	5-7	200	100	200	200	200	200	900	780 87%
	推薦	地域枠広島県	2	②		広島県が貸与する奨学金を受給する者	11/1~11/8	面(口述試験を含む)	12/3	2/7	総合判定	5-7	200	100	200	200	200	200	900	780 87%
	推薦	地域枠兵庫県	2	②		兵庫県が貸与する奨学金を受給する者	11/1~11/8	面(口述試験を含む)	12/3	2/7	総合判定	5-7	200	100	200	200	200	200	900	780 87%
	AO	国際バカロレア	3			IBフルディプロマを得た者で、言語Aを日本語で履修し評価4以上、数・理についても指定科目の成績基準あり	8/1~8/5	面	8/18	8/31		×								
広島	AO	総合評価Ⅱ型	5	①		大学院(学部・研究科連携コース)進学希望者対象。科学研究活動を継続的に行った者、または科学オリンピック等で一定の成績を収めた者	9/29~10/5	1次 書類 2次 論(生命科学の知識と英語能力を含めた総合的能力を評価)100点、面200点 センター試験得点が基準点以上	—	10/26	2/6	論・面の総合判定	5-7	200	100	200	200	200	900	720 80%
	推薦	ふるさと枠広島県	18	①	4.3	県内の高校出身者。広島県が貸与する奨学金を受給	11/1~11/4	1次 面200点、書類100点 2次 センター試験	11/10~11/11	—	2/6	1200点満点	5-7	200	100	200	200	200	900	
	推薦	ふるさと枠岡山県	2	①	4.3	岡山県内の高校出身者、または本人もしくは保護者が岡山県内居住。岡山県が貸与する奨学金を受給	11/1~11/4	1次 面200点、書類100点 2次 センター試験	11/10~11/11	—	2/6	1200点満点	5-7	200	100	200	200	200	900	
山口	推薦	全国枠	7	現	(A)															
	推薦	地域枠	15	現	(A)	県内高校出身者、または保護者が県内在住														
	推薦	緊急医師確保対策	5	①		山口県医師修学資金(緊急医師確保対策枠)を受給する者	12/13~12/15	論(資料は英文で提示することもある)200点、面(個人または集団)200点	1/19	2/7	800点満点	5-7	40	40	120	120	80	400		
	推薦	地域医療山口県枠	9	①		山口県医師修学資金(地域医療再生枠)を受給する者														
徳島	推薦	一般	25	①	4.3	大学院進学希望者	1/17~1/20	1次 書類、センター試験 2次 集団討論、集団面接	—	2/2	2/8	総合判定	5-7	200	100	200	200	200	900	720 80%
	推薦	地域枠	17	①	4.3	大学院進学希望者で、徳島県の面接を受けて推薦状を得た者。「地域特別枠」(最大12名)は県の医師修学資金を受け、卒業後一定期間を県内公的医療機関に勤務	1/17~1/20	1次 書類、センター試験 2次 集団討論、集団面接	—	2/2	2/8	総合判定	5-7	200	100	200	200	200	900	720 80%
香川	推薦	一般枠	10	現	A	英・数・理の指定科目履修														
	推薦	地域枠	10	現	A	県内高校出身者。英・数・理の指定科目履修	11/1~11/8	論300点、面150点。県民医療推進枠は香川県による面接もある	11/19	2/8	450点満点	3-5			②	②	①		センター試験は高校における基礎学力の修得度を見るために利用	
	推薦	県民医療推進枠	5	現	A	英・数・理の指定科目履修。香川県医学生修学資金を受け、将来9年間県内の指定医療機関で勤務														
愛媛	推薦	学校推薦	25	現	A		11/1~11/7	1次 論(和文・英文で出題、和文で記述)200点、面200点、書類。30人程度を合格とする 2次 センター試験	11/19~11/20	12/2	2/3		5-7	200	100	200	200	200	900	
	推薦	地域特別枠	20	①		県内高校出身者。入学後愛媛県の奨学金を受給し、卒業後県知事指定の医療機関で9年間勤務	11/1~11/7	1次 論(和文・英文で出題、和文で記述)200点、面200点、書類。33人程度を合格とする 2次 センター試験	11/19~11/20	12/2	2/3		5-7	200	100	200	200	200	900	

大学	種類	枠等	募集人員	出願資格		出願期間	選考方法等		選考結果発表	合否判定法	センター試験受験教科							基準点・%			
				現浪	評定		その他要件(&条件)	試験内容			試験日	教科数	国語	歴公	数学	理科	英語		満点		
高知	AO		30	①	4.3	卒業後、県内で2年間の初期臨床研修	8/1~8/4	1次 論、総合問題Ⅰ(数学、英語)、総合問題Ⅱ(物・化・生から2選)、書類 2次 態度・習慣領域評価(医師となるに不可欠な、長期間かけて培われた能力を評価)、面	9/3 10/11~10/21のうち2日間指定	9/29 10/27		×									
	推薦		15	①	4.3	四国・瀬戸内地域の高校出身者。高知県医師養成奨学貸付金を受給する者	11/1~11/4	面(個人面接。志望動機、意欲、適性等について総合的に評価)	12/14~12/16指定	2/8		5-7	200	100	200	200	200	200	900		
佐賀	推薦	一般枠	20	現	A		11/1~11/8	論、面、調査書等 5倍で書類による第1次選考を行うことがある	12/3	2/8	総合判定	5-7	160	80	160	160	160	720	基準点あり		
	推薦	佐賀県枠	23	①	A	県内高校出身者、または本人は県内小・中いずれか卒かつ保護者が県内在住。卒業後、佐賀県内病院で初期臨床研修。募集人員のうち5名は「佐賀県医師修学資金」受給者枠	11/1~11/8	論、面、調査書等 5倍で書類による第1次選考を行うことがある	12/3	2/8	総合判定	5-7	160	80	160	160	160	720	基準点あり		
	推薦	長崎県枠	1	①	A	長崎県内高校出身者、または長崎県内小・中いずれか卒。長崎県医学修学資金の貸与を受け、卒業後、長崎県内の指定医療機関で勤務	11/1~11/8	論、面、調査書等 10倍で書類による第1次選考を行うことがある	12/3	2/8	総合判定	5-7	160	80	160	160	160	720	基準点あり		
	推薦	佐賀県推薦入学	2	②	4.0	佐賀県の推薦を受けた者(6人程度)。卒業後、佐賀県内で医療活動に従事	11/17~11/22	論、面、佐賀県推薦書	12/3	2/8	総合判定	5-7	140	70	140	140	140	630			
長崎	推薦	A地域医療枠	15	①	(A)A	県内小・中・高いずれか卒。卒業後、指定医療機関で3年間臨床研修。推薦Bと併願可	12/12~12/16	面接(個人)120点、調査書等80点	1/20	2/8	1100点満点	5-7	200	100	200	200	200	200	900	720	80%
	推薦	B地域医療特別	10	①	(A)A	県内小・中・高いずれか卒。長崎県の推薦が必要。「長崎県医学修学資金」を受給し、卒業後県内の指定医療機関で診療に従事。推薦Aと併願可															
	推薦	C佐賀県枠	2	現	(A)A	佐賀県内高校出身者。「佐賀県医師修学資金」を受給し、卒業後、小児・産科・救急・麻酔の医師として佐賀県内の指定医療機関で診療に従事															
	推薦	C宮崎県枠	2	①	(A)A	宮崎県内の小・中・高のいずれか卒。宮崎県の推薦が必要。「宮崎県医師修学資金」を受給し、卒業後宮崎県内の指定医療機関で診療に従事															
	推薦	D一般研究医枠	5	①	(A)A	長崎大大学院(医学系基礎研究分野)に進学し基礎研究に貢献する者															
	推薦	E熱帯医学研究医枠	5	①	(A)A	長崎大大学院(医学系基礎研究分野)に進学し、熱帯医学の基礎研究に貢献する者															
	推薦	F国際保健医療枠	5	①	(A)A	長崎大大学院(医学系基礎研究分野)に進学し、国際保健医療、放射線健康科学分野に貢献する者															
熊本	推薦	一般枠	15	現	4.0		1/16~1/19	面15点。センター試験は900点を100点に換算	2/4	2/8	115点満点	5-7	200	100	200	200	200	200	900	720	80%
	推薦	地域枠	5	①	4.0	県内高校出身者。熊本県医師修学資金を受給する者	1/16~1/19	面30点。センター試験は900点を100点に換算	2/4	2/8	130点満点	5-7	200	100	200	200	200	200	900	702	78%
大分	AO	一般枠	22	②	A		11/1~11/4	1次 センター試験。募集人員の約2.5倍程度を合格とする 2次 面(個人、集団)540点	— 2/5	2/8	990点満点	5-7	100	50	100	100	100	450			
	AO	地域枠	13	②	A	県内小学校または中学校の卒業後、大分県指定のへき地医療拠点病院での体験活動(8月中の3日間実施)を受けた者。大分県医師修学資金を受給	11/1~11/4	1次 センター試験。募集人員の約2.5倍程度を合格とする 2次 面(個人、集団)540点	— 2/5	2/8	990点満点	5-7	100	50	100	100	100	450			
宮崎	推薦	一般枠	20	現	A		12/2~12/6	面(面接の際、筆記による面接資料の作成を課すことがある)	12/26	2/8	総合判定	5-7	200	100	200	200	200	200	900		
	推薦	地域枠	10	現	A	県内高校出身者。宮崎県の推薦のある者															
	推薦	地域特別枠	10	①	A	県内高校出身者は1浪生も可。県外高校出身者は現役のみで、宮崎県の小学・中学いずれかを卒業した者。宮崎県の推薦のある者で、宮崎県医師修学資金を受給する者															
鹿児島	推薦		17	○	A	県内高校出身者。鹿児島県の医師修学資金を受給	1/17~1/19	面(鹿児島県の地域医療に従事しようとする強い意欲・情熱を持つ者について医療人としての適性・能力をみる)	2/4	2/8	総合判定	5-7	200	100	200	200	200	900		外部英語試験で一定のスコア基準を満たせばセンター外国語は満点とみなす	
琉球	推薦	地域枠	14	①	A	県内高校出身者。沖縄県の奨学金を受給	11/1~11/8	論(思考力、獨創性、発想力、表現力等を総合的に評価)200点、面(適性、意欲、表現力等を総合的に評価)300点、調(面接等の参考にする)	12/1	2/7	1500点満点	5-7	200	100	200	200	300	1000			
	推薦	離島・北部枠	3	①	A	県内の離島地域・本島北部地域の高校出身者。沖縄県の奨学金を受給															